

～魅力ある地域づくり活動を応援します!～

福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）

# 令和6年度実施事業紹介



福島県いわき地方振興局

## ◆ 福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）とは？

地域の皆さんが主役となって行う地域づくり活動のうち、地域の課題を踏まえ、地域の特性を生かした個性と魅力あふれる地域づくり事業の立ちあげを支援する補助制度です。

## ◆ 補助対象事業（概要）

地域づくりに資する事業が対象です。（既存事業は対象になりません。）

事業の内容や事業を実施する団体、主な実施場所となる地域等により、申請できる「枠」が異なります。

※下記は、**令和7年度時点の内容**です。

補助事業枠等は毎年度更新される場合がありますので、**応募の際は必ず最新の情報をご確認ください。**

### ● 一般枠

地域づくり団体等の皆さんが地域の課題を踏まえ、地域の特性を活かして行う**広域的な視点に配慮された事業や、先駆的、モデル的な取組**であり各地方振興局長が定める採択方針に合致する取組が対象です。

実施主体	対象地域	補助率	補助金限度額	対象事業費の下限
民間団体	全ての市町村の区域	2／3以内	500万円	50万円

### ● 市町村枠

市町村及び複数市町村の連合体が行う、地域創生の推進に寄与し、具体的な効果が見込める取組が対象です。

実施主体	対象地域	補助率	補助金限度額	対象事業費の下限
市町村	全ての市町村の区域	3／4以内	1,000万円	50万円
複数市町村の連合体		4／5以内		

### ● 過疎・中山間地域活性化枠

過疎・中山間地域で実施される事業が対象となり、以下の3つの事業に分類されます。

（参考）いわき市内の過疎・中山間地域

旧箕輪村、旧川部村、旧上遠野村、旧入遠野村、旧田人村、旧上小川村、旧永戸村、旧沢渡村、旧三阪村、旧大野村、旧川前村、旧大久村に該当する地区

## ① 集落等活性化事業

元気で賑わいのある地域づくりを目指し、過疎・中山間地域の集落等が行う集落等の再生・活性化への取組（集落等再生事業）及びその計画を策定する取組（集落等再生計画策定事業）が対象です。（単なる維持修繕を除く）

実施主体	対象地域	補助率	補助金限度額	対象事業費の下限
集落等	過疎・中山間地域	①集落等再生事業 4／5以内（※）	①500万円	②25万円
		②集落等再生計画策定事業 10／10以内	②30万円	②なし

※「集落等再生計画策定事業で策定した計画」または「大学生の力を活用した集落復興支援事業で策定した集落活性化計画」に基づく事業を実施する場合は、100万円まで10/10以内、100万円を超える部分は4/5以内。

## ② スタートアップ支援事業（収益事業）

集落等と協定を結び、市町村の推薦を受けた過疎・中山間地域の民間企業や協定団体が地域資源を活用して行う、地域に根差したスモールビジネスの立ちあげや生業の創出に係る取組が対象です。

実施主体	対象地域	補助率	補助金限度額	対象事業費の下限
民間企業 協定団体	過疎・中山間地域	9／10以内	300万円（累計）	20万円

## ③ 集落ネットワーク圏形成事業

市町村又は小さな拠点づくり計画に定める事業実施主体が行う、生活環境の維持向上や地域資源を活用したしごとづくりなど、住民同士の話し合いを通じた地域運営の仕組みづくりを推進し、地域課題の解決を図る取組（小さな拠点づくり事業）及び市町村がその計画を策定する取組（小さな拠点づくり計画策定事業）が対象です。

実施主体	対象地域	補助率	補助金限度額	対象事業費の下限
市町村 （※1）	過疎・中山間地域	①小さな拠点づくり事業 9／10以内（※2）	①500万円（累計）	①25万円
市町村		②小さな拠点づくり計画策定事業 9／10以内	②50万円	②なし

※1 以下による実施を可能とする

①市町村が直接実施する事業②小さな拠点づくり計画に定める事業実施主体に対する委託により実施する事業

③小さな拠点づくり計画に定める事業実施主体に対して補助金を交付し、若しくは負担金を支出して行う事業

※2 工事請負費及び備品購入費については2／3以内

### ◆ 補助対象経費（実施マニュアルに対象経費の例示の記載あり。）

- 1 報 償 費 … 指導又は助言等を行う専門家等に対する謝金 等
- 2 委 託 料 … ホームページ制作委託料、市場調査委託料 等
- 3 工事請負費 … 土地、工作物等の造成又は製造及び改造の工事、工作物等の移転等に要する経費
- 4 備品購入費 … 機械装置及び設備等の購入費
- 5 諸 経 費 … 旅費、消耗品費、燃料費、印刷製本費、通信運搬費、使用料及び賃借料 等

### ◆ 補助対象期間

補助の期間については、**原則1年**です。

ただし、次の①～③のいずれかに該当する場合で、特に必要と認められる事業については、**3か年を限度に継続を認めることがあります。**

- ①単年度では完了しない継続事業など、将来にわたり明確な事業計画のある、発展的な事業であること
- ②前年度より補助金依存度が低下するなど、自立に向けた取組が明確に認められる事業であること
- ③前年度に顕著な事業効果が認められ、更なる発展性が見込まれる事業であること

※ 事業決定は単年度ごとに行うものであり、**毎年度応募及び審査を受ける必要があります。**

次年度以降の補助を約束するものではありません。

### ◆ 募集時期

例年**事業実施年度の前年度の1月下旬頃～2月中旬頃**に第1次募集を行います。

※第1次募集の応募状況によっては第2次募集を実施する可能性があります。



各枠の補助容等、詳しくは福島県いわき地方振興局のホームページをご覧ください。

【ホームページ】福島県いわき地方振興局企画商工部 地域創生総合支援事業（サポート事業）

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/iwaki-kikakusyoukou-top/support-top.html>

相談先：福島県いわき地方振興局 企画商工部 地域づくり・商工労政課 サポート事業担当

TEL：0246-24-6006 FAX：0246-24-6019

Email：iwaki\_chiiki@pref.fukushima.lg.jp

## 令和6年度実施事業一覧

### ◆一般枠

- ①大野地区の里山環境を活用した庭園整備・賑わい創出事業 【継続】  
(株式会社起点)
- ②いわきフェスティバル～sound & light～ 【新規】  
(公益社団法人いわき青年会議所)
- ③アクアマリンパーク夜も安全 & 賑わいづくり事業 【新規】  
(ライトアップ小名浜実行委員会)
- ④DIYによる移住体験型ゲストハウス整備と中之作地域エリアリノベーション事業  
【新規】  
(特定非営利活動法人中之作プロジェクト)
- ⑤よつくらリボーンプロジェクト【新規】  
(四倉ふれあい市民会議)
- ⑥げんKids好間プロジェクト2024 【継続】  
(特定非営利活動法人ツークンフトロカール)
- ⑦R6年度 湯本を本気で遊ぶプロジェクト ～みんなでつくる駅前観光交流拠点  
【継続】  
(じょうばん街工房21)



## 令和6年度実施事業一覧

### ◆過疎・中山間地域活性化枠

#### ・集落等活性化事業

⑧おがわ地域交流活性化プロジェクト 【新規】  
(こだまダム湖地域活性化協議会)

⑨上三坂「治療院カフェ」から三和の魅力発信と交流人口拡大へ 【継続】  
(上三坂地区)

#### ・スタートアップ支援事業(収益事業)

⑩「こびとの森」プロジェクト 【新規】  
(個人事業主)

#### ・集落ネットワーク圏形成事業

⑪川前町の小さな拠点整備事業 【継続】  
(補助事業者:いわき市)  
(事業実施団体:特定非営利活動法人小さな拠点おおか)

# ①大野地区の里山環境を活用した庭園整備・賑わい創出事業

【実施団体】 株式会社起点

【実施地域】 いわき市大野地区

【事業費】 1,431千円（補助額：952千円）

一般枠・継続事業

一般枠

【補助率】 2／3以内

【補助限度額】 500万円

【補助対象事業費の下限】 50万円

## 主な事業内容

### ①実施団体の保有する空き地を活用した交流スペースの運営・活用

昨年度製作したウッドデッキを含む圃場を「庭園」として運用していくため、綿花の農業体験を伴う講座やサイクリングツーリズムの実施。

### ②大野地区の環境資源を活用した地域ガイドプログラムの制作

いわき市大野地区の環境資源を調査し、地域情報誌を作成。四倉町を中心とした市内各所に配本し、大野地区の魅力発信を行った。

## 事業目的

大野地区の活性化に関する活動を実施し、様々な交流を通して地域コミュニティの醸成につなげていき、地域づくりに関わる人材や事業者の創出を目指す。また、地域の自然環境および資源を可視化し、大野地区に関わる人々（住民を含む）の誇りを育み、地域への愛着を深めてもらう。

## 事業効果

庭園来訪者同士の繋がりから地域内で古民家活用イベントや庭園を利用した企画が発生していることなど、本事業を契機として地域コミュニティの醸成を促すことができた。

## 今後やってみたいこと

地域内にビオトープを作り、子どもを含めた幅広い世代の関係交流人口の拡大を図っていきたい。

## 活動状況写真

交流スペースとなるウッドデッキ



地域内の生態系調査



## ②いわきフェスティバル～sound & light～

【実施団体】公益社団法人いわき青年会議所

【実施地域】いわき市内

【事業費】3,071千円（補助額：1,818千円）

### 主な事業内容

#### ①市内高校とのイルミネーションオブジェ共同製作

いわき市内の5つの高校の生徒が「サステナブル」をテーマにオブジェの制作を行って、いわき駅前ペDESTリアンデッキに設置した。

どのオブジェがテーマに沿っていたかを市民に投票してもらうこととし、多くの市民を巻き込むことができた。

#### ②学生による音楽イベントの開催

学生が主体的にまちづくりに参加することを目指し、いわき市内の中高生による吹奏楽の演奏をいわき駅前ペDESTリアンデッキで実施した。

### 事業目的

人口減少に伴う地域社会の衰退が進む中、いわき市が一体となれる冬の風物詩を創り出すことで、市民が互いに交流を図り、まちに賑わいを創出することのできる場を作り、県内外への交流人口の拡大を図りいわき市全体の活性化に繋げる。

### 事業効果

イベント当日は1000名以上の市民の参加があった。いわき市内だけでなく、市外からの来場もあり、地域経済や街の活性化へと繋げることができた。

### 今後やってみたいこと

まちの冬の風物詩としての地位を強固なものとするため、多くの市民が当事者として関わるような事業としたい。

### 活動状況写真

高校生が製作したオブジェ



音楽イベントの様子





### ③アクアマリンパーク夜も安全&賑わいづくり事業

【実施団体】ライトアップ小名浜実行委員会

【実施地域】いわき市小名浜地区内

【事業費】3,608千円（補助額：2,405千円）

## 主な事業内容

### ①アクアマリンパークへの照明の設置及び擬木のヤシの木を使ったイルミネーションの実施

小名浜潮目交流館アクアマリンパーク側に屋外照明を設置し、連休等にアクアマリンパーク広場部を照らした。また、ヤシの木の擬木をパーク内の境界として設置し、エリア内の雰囲気演出した。

### ②ストリートスポーツ広場の設置・運用

3on3コート、スケボーパーク等のストリート系スポーツ遊具を設置し、若者や子供連れなどが遊べる場を作った。

### ③マルシェ・学生演奏会の開催

マルシェを1回開催し、学生演奏会を2回開催した。

## 事業目的

夜でも安心して過ごせる場所づくり及び賑わいを生むための広場の整備やイベントを開催することにより、アクアマリンパークを昼夜問わない賑わい空間としていき、交流人口を拡大させる。

## 事業効果

照明を点灯することにより防犯効果を高めることができ、集客にも効果があった。また、社会人ボーダーにとって仕事帰りに練習できる場所を提供できた。

## 今後やってみたいこと

設置した照明を最大限利用し、アクアマリンパークを人と人とのつながりをもてる場所としていきたい。

## 活動状況写真

照明広場とバスケットボールコート



マルシェの様子



# ④DIYによる移住体験型ゲストハウス整備と中之作地域エリアリノベーション事業

一般枠・新規事業

【実施団体】 特定非営利活動法人中之作プロジェクト

【実施地域】 いわき市中中之作地区

【事業費】 12,186千円（補助額：4,585千円）

一般枠

【補助率】 2／3以内

【補助限度額】 500万円

【補助対象事業費の下限】 50万円

## 主な事業内容

### ①DIY教室を行いながらのゲストハウスの整備

移住希望者と地域住民との交流の場となるゲストハウスを整備し、空き家再生のDIY作業に移住希望者も参加を促して実施した。

### ②ゲストハウスを利用した港町の暮らし体験宿泊の開催

地元漁業者と連携し、首都圏から来た参加者が漁業を体験したのち、ゲストハウスに宿泊した。

## 事業目的

地域住民や移住希望者を交えてDIY教室を行いながら事業を実施しゲストハウスを整備する事によって、地域住民の空き家に対する認識を変え、移住者が入りやすい場づくり、ゲストハウス完成後はゲストハウス整備で得たノウハウをもとに、移住者向けにDIY教室を実施することにより、港町への移住を実現化し、空き家の減少及び少子高齢化の歯止めを行う。

## 事業効果

従来の空き家再生は建物所有者との関係だけで完結していたが、今回地域住民や移住希望者が積極的に関わる仕組みへ移行することで、空き家問題を地域全体の問題として考えるきっかけとすることができた。価値観が変化することにより、放置空き家の減少や子育て世代の増加など、豊かなコミュニティづくりに資することが期待できる。

## 今後やってみたいこと

地域内につくられた「開かれた場」の風通しのよさを理解した住民とともに「エリアリノベーション」を加速させる予定。過疎化と空き家が増加する地域の解決策になる事業を行っていききたい。

## 活動状況写真

### DIYワークショップ



### DIY体験合宿





# ⑤よつくりリボーンプロジェクト

【実施団体】四倉ふれあい市民会議

【実施地域】いわき市四倉地区

【事業費】7,000千円（補助額：4,285千円）

## 主な事業内容

### ① ヤシの木やオリーブの設置による導線づくり

ヤシの木、オリーブの木などを商店街、住宅に飾り、海水浴場まで繋ぐことで一体感のある街の雰囲気を生み出した。

### ② オリーブ及びヤシの木の植樹及びイベント

地元小学生や地域団体の方々とココスヤシ及びオリーブを植える植樹祭イベントを開催した。

### ③商店街への交流人口の拡大、商店街の活性化スポットイベント

四倉地区内の空き地や空き店舗においてキッチンカー、屋台、売店等を出店するイベントを開催し、交流人口の拡大を図った。

## 事業目的

海の雰囲気漂うヤシの木やオリーブの鉢を商店街に配置し、駅から海岸までの導線を作り人を呼び込むイベントを実施し、空き店舗などを若手事業者に貸せるような方向に仕向けることにより商店街の交流人口を拡大し、活気を取り戻す。

## 事業効果

海の雰囲気漂うヤシの木やオリーブの鉢を配置することにより街中に華やかな雰囲気が戻ってきた。また、空き地や空き店舗などを活用したイベントにより交流人口の拡大や街の活性化につながった。

## 今後やってみたいこと

商店街の空きスペースの有効な活用法を模索していきたい。最終的にはマッチングサービスを行い空き店舗、休閑地の利活用の一助とし街の定住人口、交流人口の増大に寄与したい。

## 活動状況写真

植樹イベントの様子



マルシェの様子



# ⑥げんKids好間プロジェクト2024

【実施団体】特定非営利活動法人ツークンフトロカル

【実施地域】いわき市好間地区

【事業費】12,748千円（補助額：4,585千円）

## 主な事業内容

### ①廃校の小学校を活用した「スポーツ&カルチャークラブ」の運営

旧小学校の体育館や教室を、クラブ会員がスポーツや文化活動を行えるように、施設の修繕を実施。クラブ会員となった子どもたちの放課後の活動の場として整備を行った。

### ②地域の祭りへのボランティア参加やイベントを実施

季節ごとにイベントを実施し、廃校となった小学校に賑わいを呼び起こすきっかけづくりを実施。

## 事業目的

「スポーツ&カルチャークラブ」の運営を通じて、安心して子どもを生み、育てたいと思える環境作りを推進し、多世代の交流を促進することにより、豊かな関わりがあるコミュニティの構築に繋げ、次世代地域の担い手の育成や、災害時等に向けた地域の連携の強化に繋げる。

## 事業効果

旧小学校が子どもから高齢者まで200名を超える登録者の居場所となったことにより、地域の困りごとや問題などについて議論するようになり、地域のクラブハウスとしての役割が生まれた。

## 今後やってみたいこと

「スポーツ&カルチャークラブ」の運営を通して、地域住民と子どもたちを中心とした交流を促進させ、将来的には地域のみならず海外の子どもたちとの交流も行っていきたい。

## 活動状況写真

屋外活動の様子



屋内活動の様子





# ⑦R6年度 湯本を本気で遊ぶプロジェクト ～みんなでつくる駅前観光交流拠点

【実施団体】 じょうばん街工房21

【実施地域】 いわき市常磐地区

【事業費】 3,736千円（補助額：2,278千円）

一般枠・継続事業3年目

一般枠

【補助率】 2／3以内

【補助限度額】 500万円

【補助対象事業費の下限】 50万円

## 主な事業内容

### ①あとち集会場及びあとち広場の管理・運営

地域住民や子供たち、来訪者が気軽に集まる居場所を提供しながら、利用者に対して情報発信を行った。また、様々な団体によるイベント開催申請サポートを行いながら、利用者が快適に使用できる場所となるよう維持管理・運営を行った。

### ②みんなでつくる駅前観光交流拠点事業

ワークショップを開催し、湯本駅前にふさわしい駅前観光交流拠点の議論を深めた。

### ③情報発信ツール「かわら版」の発行

上記の取組を発信するため、「かわら版」を9回発行し、回覧版を利用して地区へ配布した。

## 事業目的

まちづくりに関わる人材が不足している常磐地区において、まちづくりに関わる人材を育成すると共に、街で活躍するプレイヤー同士のネットワークの形成を推進し、常磐地区の市街地の賑わいと活力を呼び戻す。

## 事業効果

イベント開催により、常磐地区外からも参加者を呼び込むことができ、市街地のにぎわい創出に繋がった。また、駅前に整備される観光交流拠点についてのイメージ共有ができた。

## 今後やってみたいこと

観光交流拠点における機能配置のイメージを基に今後議論する機会を模索していく。また、区画整理事業の本格化に伴い、あとち集会所の解体が予定されていることから、代替機能の提供について模索する。

## 活動状況写真

### ワークショップ1回目



### ワークショップ2回目



# ⑧おがわ地域交流活性化プロジェクト

【実施団体】こだまダム湖地域活性化協議会  
【実施地域】いわき市小川地区  
【事業費】7,039千円（補助額：5,000千円）

過疎中山間活性化枠（集落等活性化事業）・新規事業  
過疎中山間地域活性化枠（集落等活性化事業）  
【補助率】4/5以内 ※  
【補助限度額】500万円  
【補助対象事業費の下限】25万円  
※集落等再生計画策定事業に基づく事業の場合は、100万円まで補助率10/10

## 主な事業内容

- ①小玉ダム湖でのアクティビティ（カヤック、ボートクルーズ、SUP等）体験イベントの開催  
5月から10月にかけて体験イベントを開催した。
- ②地域資源調査及び地域産品調査研究  
活動のキャラクターを作成し、PRや地域連携に活用した。また、いわき市小川地区の特産品である青ネギを使用した、たこ焼き風の「ねぎだま」を開発した。

## 事業目的

小川地域において、地域資源である小玉ダム湖を活用し地域内外の子どもからお年寄りまで多様な世代が楽しめるカヤックなどを提供するアウトドアエンターテイメントを創出することで、観光交流人口の拡大による地域経済の活性化を図る。

## 事業効果

アクティビティの実施や地域資源の調査により、小川地区の飲食店や事業者との連携が深まり、地区の認知度向上や地域振興のきっかけづくりに寄与することができた。

## 今後やってみたいこと

体験イベントの幅を広げて実施し、飲食店との連携、農産物の販売にもさらに力を入れて実施していきたい。

## 活動状況写真

アクティビティ



地元農産品を使ったソウルフード開発





過疎中山間地域活性化枠（集落等活性化事業）

【補助率】4/5以内 ※

【補助限度額】500万円

【補助対象事業費の下限】25万円

※集落等再生計画策定事業に基づく事業の場合は、100万円まで補助率10/10

## ⑨上三坂「治療院カフェ」から三和の魅力発信と交流人口拡大へ

【実施団体】上三坂地区

【実施地域】いわき市上三坂地区

【事業費】4,884千円（補助額：2,931千円）

### 主な事業内容

#### ①地域住民による上三坂「治療院カフェ」の運営

住民主体で週末にカフェを運営した。

#### ②週一寄り合い事業「黄色いハンカチの日」、体験型イベントの開催

黄色いハンカチの日としての週1回の映画上映に向けて、映像機器を整備し、スタートイベントを開催した。また、柏餅、凍み大根作りなど、体験型イベントを開催した。

#### ③「ナツメの郷」づくりの実施

カフェメニューで提供しているナツメとクコの実について継続した事業の実施に向けて、独自に栽培を進めた。

### 事業目的

いわき市上三坂地区において、地域住民が主体となり住民のコミュニケーションの場所（居場所）となる、「立ち寄り所」を作ることにより、地域内の交流を図ることで、コミュニティや社会環境の維持に繋げ、地区内外の方々との交流を推進することで、地域の魅力を活かしたまちづくりを行い、住民の生きがいと町の活力を生み出していく。

### 事業効果

地域住民が活動に定期的に参加するようになり、交流の場となっているほか、事業内容について、メンバーと話し合うことで、治療院カフェの運営の継続という視点から地域との関わり方について定期的に考える機会を設けることができた。

### 今後やってみたいこと

映画イベントの実施と、ナツメの郷づくりに関するボランティアチーム作りに取り組みたい。

### 活動状況写真

#### 映画上映イベント



#### ナツメ植樹



# 10「こびとの森」プロジェクト

【実施団体】 個人事業主

【実施地域】 いわき田人地区

【事業費】 3,334千円（補助額：2,997千円）

過疎中山間活性化枠（スタートアップ支援事業（収益事業））・新規事業

過疎中山間地域活性化枠（スタートアップ支援（収益事業））

【補助率】 9／10以内

【補助限度額】 300万円

【補助対象事業費の下限】 20万円

## 主な事業内容

### ①放棄されている森林を活用した子供向けの自然体験施設「こびとの森」の整備

令和6年度中に施設整備を行い、令和7年5月にグランドオープンした。

### ②交流人口拡大のためのイベントの実施（自然体験ワークショップ、DIYワークショップ）

子供向けの自然体験ワークショップ、大人向けのペンキ塗りワークショップの合計2回実施した。

## 事業目的

田人町貝泊地区において、放棄地帯となっている山林原野を活用し、子供向けの自然体験施設「こびとの森」を整備し、地域に根ざしたビジネスを創出することにより、交流人口の拡大、地域経済の活性化、子供達の高い環境意識の醸成に寄与する。

## 事業効果

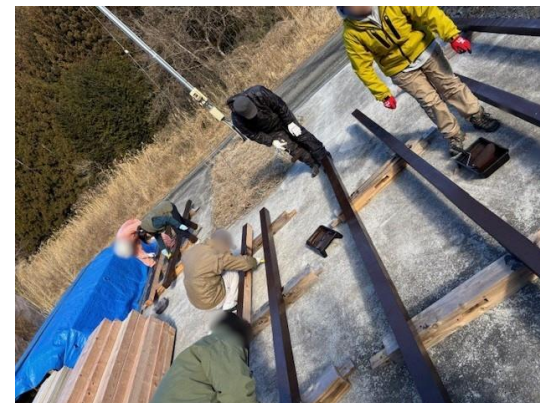
グランドオープンに向けて、ファンタジーな森を完成させることができた。また、地元の方々とよくコミュニケーションをとることで、交流や連携を深め、事業実施に向けて追い風とすることができた。

## 今後やってみたいこと

- ①体験・研修を充実させてリピーターを増やす
- ②企業及び、学童や幼稚園との連携を深める
- ③積極的に情報発信を行うことにより、活動の基盤づくり、ブランドの確立を図る

## 活動状況写真

### ワークショップ写真①



### ワークショップ写真②





# ⑪川前町の小さな拠点整備事業

【事業実施団体】NPO法人小さな拠点おおか

【実施地域】いわき市川前地区

【事業費】1,106千円（補助額：995千円）

過疎中山間活性化枠（集落ネットワーク圏形成事業）・継続事業

過疎中山間地域活性化枠（集落ネットワーク圏形成事業）

当該事業を実施する前に「小さな拠点づくり計画」を策定する必要があります。

【補助率】9/10以内

【補助事業者】市町村

【補助限度額】500万円 【補助対象事業費の下限】25万円

## 主な事業内容

### ①「保健・医療・福祉の講座や相談会」の実施

地域の高齢者を対象に、小さな拠点おおかに医療・福祉等の専門職を招き、健康講座や個別相談会、運動や脳活性化トレーニング等を開催。

### ②「家事や買物代行・支援」の実施

移動手段のない地域高齢者の日常生活を支援するため、家事や買物代行・支援を実施。

### ③「SNSを活用した地域の情報発信」の実施

関係人口、交流人口の拡大を図るため、SNSを活用して川前地区の情報発信を行った。

### ④「ボランティアの募集」の実施

地域住民主体の活動とするため、ボランティアを募集した。

### ⑤「地域の美化活動」の実施

地域内外の交流の場、関係人口の拡大を目的に、3か月に1回程度美化活動を実施した。

## 事業目的

川前地区において、地域住民が主体となり小さな拠点を形成することで、地域住民同士で支援できる仕組みを作り、日常生活の不安を払拭し地域の住民が安心して暮らし続けることができる地域とする。

## 事業効果

小さな拠点を形成し、健康増進や日常生活支援などの取組を実施することで、健康に不安があり、移動や家事に困難な高齢者が日常生活の不安を払拭し、安心して川前地区に暮らし続けることができる環境に繋がりがつつある。

## 今後やってみたいこと

地域の交流の輪を広げるほか、公共ライドシェア車両「おおか号」を活用した買物支援、ごみ拾いイベントの企画などを行っていく。

## 活動状況写真

体操教室



健康相談

